

1. 概要

GLOBIZ Global Career Bridge Programは、留学生が日本企業で就職し、定着・活躍できる人材となることを目的に、日本語教育・キャリア教育・インターンシップを相互に連動させて設計した実務統合型教育プログラムである。知識習得にとどまらず、実践と振り返りを通じて、就職に直結する実践力を体系的に育成する。

2. 日本語教育プログラム

留学生が日本語を用いて学び、就職し、職場で定着・活躍できる状態を目指し、日本語教育を以下の4つのプロセスに分けて体系的に実施し、日本語能力試験N1取得か、これに相当する日本語運用能力を養成する。

(1) ビジネス日本語力の基礎徹底強化

日本語運用能力の土台を形成する基礎段階。文法・語彙・漢字・読解・聴解の基礎力を確実に定着させ、上位レベル学修およびN1到達に必要な基盤を構築し、大学の講義を理解できるアカデミックな日本語能力を修得することを狙いとする。

(2) 高度な読解力・表現力の育成

学修および専門内容を正確に理解し、論理的に表現する力を養う段階。講義・専門資料を正確に理解できる読解力の向上、自身の考えを論理的に表現できる日本語力の育成することを狙いとする。

(3) ビジネス日本語運用

就職活動および企業活動に対応する実践的日本語運用段階。日本の企業文化・ビジネス慣行に即した日本語運用力の獲得、就職活動を円滑に遂行できる日本語表現力の強化を狙いとする。

(4) 実務即応型日本語完成

就職後の職場定着・実務遂行を見据えた最終完成段階。職場において日本語を使って即戦力として行動できる状態の実現、業務遂行に必要な実践的コミュニケーション力の定着を狙いとする。

3. キャリア教育プログラム

留学生が日本での就職を実現するために必要な力を、理解 → 内省 → 実装 → 定着の4段階プロセスで体系的に育成する。

(1) 就職環境理解・職業基礎形成

日本の就職文化・企業理解・ビジネスマナーを理解する。日本の就職環境を理解し、求められる行動基準を説明できることを目標とする。

(2) キャリア形成・自己理解

キャリア形成・自己理解・職業観を醸成する。自身のキャリア像を日本語で言語化できることを目標とする。

(3) 就職活動実践・トランジション

就職活動支援：ES、面接、企業研究を行う。就職活動を自律的に遂行できることを目標とする。

(4) 職場接続・定着支援

就職後を見据えた準備・実務接続を行う。就職後の職場に円滑に適応できる準備ができていることを目標とする。

4. インターンシッププログラム

学生が社会と早期に接続し、現場経験を通じて主体的なキャリア観と実践知を形成する。取り組みは、キャリア形成推進委員会のもとで、3つの柱の循環運営。

(1)「地域連携に基づく産学連携実践型キャリア形成」：地域企業・団体との協働により、企画・立案・運営・評価の各フェーズで共有する仕組みを整備し実施。

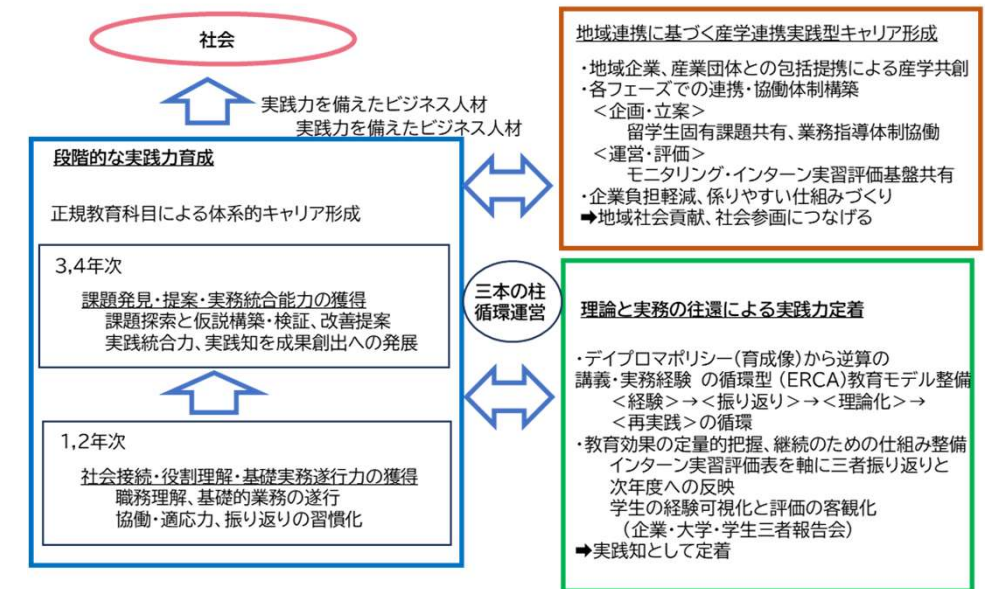
(2)「段階的な実践力育成」：観察→参加→実践→貢献へと能力を累積的に伸ばす仕組みを正規教育科目として整備し実施。

(3)「理論と実務の往還」：教室での知識を現場で検証し、振り返り・評価を通じ実践知として定着させる教育体系を確立し運営。

活動の核となる臨地実務実習科目は、卒業単位の16%を占める必修科目として設計され、4年間累計80日間の就業経験を段階的に積み上げる。学生は、観察から参加、実践、そして最終的には企業課題への貢献へと発展的に役割を担い、自身の経験知として定着させる。

インターンシッププログラム・フレームワーク

ERCA: Experience- Reflection- Conceptualization- Action



5. 修了要件

本学入学者で日本での就職を希望する留学生とし、日本語教育、キャリア教育、インターンシップの各プログラムにおいて所定の単位修得および到達目標の達成が確認された者とする。なお、修了認定にあたっては、日本語能力、就職活動対応力、実務経験の成果を総合的に評価し、本学が認定を行い、修了証明書を発行する。